

# Japanese man In NY (ニューヨーク生活)



1995年当時のトークン

## 《 The cost of living in New York 》

今回はニューヨーク生活での物価の話。今からちょうど30年前の話なので、物価が上がっているのは当然ながら、現在のニューヨークの物価上昇は異常とも言える状況らしく、暮らしやすかった当時は夢のようでもある。

このコーナーで何度か触れているが、当時住んでいた W78th Street の Amsterdam Avenue と Columbus Avenue の間に佇んでいたアパートの家賃は、4 畳くらいの部屋だったが、月 303 ドル（現在のレートで約 47,000 円）だった。今では 10 倍以上は当たり前らしく、マンハッタンで月 1000 ドル以下の家賃のアパートを見つけることは、ルームシェア以外ではほぼ不可能らしい。監獄みたいな部屋だったが、自分にとっては最高の空間だった。

当時のバス・地下鉄の運賃は 1 ドル 25 セント（約 190 円）で、1995 年 11 月に 1 ドル 50 セント（約 230 円）に値上げされた。メトロカードが普及する前で、トークンと呼ばれた丸いコインを使って乗っていた時代だった。また、当時のマクドナルドのビックマックの値段は、2.45 ドル（約 380 円）だった記憶がある。また、近所のバーガーキングでは、毎週水曜日が水曜日にワッパーが 99 セント（約 155 円）で売られていた。当時よく買っていたのが、デリ（日本のコンビニのような感覚のお店）のコーヒーで、レギュラーサイズは、50 セント～1 ドル（約 78 ～ 156 円）が一般的な価格帯で、紙コップも今より少し小さめで、スターバックスなどのカフェ文化が普及する前で、庶民には手軽に飲める感覚だった。但し、ほとんどのデリでは何も言わないと、砂糖がたっぷり入った甘い状態で渡されることも多かった。

当時はマンハッタン内にはピザ屋も点在していて、オーソドックスなチーズピザ 1 スライスが 1 ドル 25 セント（約 190 円）くらいで食べられた。そして、アッパーウエストでもとても有名だったのは、W72nd Street と Broadway に佇んでいた 99 セント（約 155 円）のホットドッグ店「Gray's Papaya」だ。現在のお店は存在しているようだが、ホットドッグ 1 本の値段は 3.25 ドル（約 508 円）のようだ。「Gray's Papaya」は 1973 年に創業され、創業当時はホットドッグ 1 本が 50 セント（約 78 円）で売られていたそうだ。

最後に、当時はパソコンも携帯電話／スマホもない時代だったため、ジャズをはじめ、音楽のライブ情報などは、水曜日だった記憶があるが、毎週発行されていた「The Village Voice (ヴイレッジ・ヴォイス)」という新聞に頼りきっていた。当時 1 ドル 25 セント（約 190 円）だったと思うが、毎週の発行を楽しみに、発行されるとライブ情報を隈なくチェックしていたことが懐かしい。この The Village Voice は 2017 年 8 月 22 日付で定期の紙版刊行を終了し、印刷媒体から撤退。2018 年 8 月 31 日にウェブ版も含めたすべての編集活動を停止したという情報やその後、所有者変更などを経て、2021 年 4 月に「四半期刊」の形で紙版が再開されたという情報もあるが、まだ発行されているようならまた手にしてみたい。

この 11 月にニューヨーク次期市長にゾーラン・マムダニ氏が選出され話題になっているが、元ニューヨーク生活者として、物価も含めて、一般市民がより暮らしやすくなることを願いたい。

# Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

## Waipi'o Peninsula Soccer Stadium

### ワイピオ・ペニンシュラ・サッカースタジアム

今回はオアフ島のエウ地区ワイパフに佇むハワイ最大級のサッカー場＝ワイピオ・ペニンシュラ・サッカースタジアム。ワイピオ・サッカー・コンプレックス内にあるサッカー専用スタジアムで、2000 年にオープンし、4500 席を有する。ハワイ大学レインボーフヒネ（女子）サッカーチームのホームスタジアムとして使用されており、オアフ島内のシニア／ジュニアチームにも利用されている。ワイパフは観光地ではなく、地元住民のエリアだが、サッカーファン、ハワイでサッカーに触れたい人にはお勤のスポット。

## 《 ハワイな一枚 》



### ハワイアン・ココナッツ・ヒッツ Various Artists

Bluewater Records [Import CD]

2000 年に発表されたコンピアルバム。ナウバカ、ロバート・ケカウラ、エフカイ等、12 アーティストによる全 15 曲を収録。ジャケットも微笑ましく癒される。